

学校評価シート(自己評価)

浅間台幼稚園

1. 園の教育目標

学校教育法に基づき幼稚園教育要領に従い
「丈夫なからだで元気な子」(健康)
「みんなと仲良く遊べる子」(社会性)
「豊かな心ののびのびした子」(情操)
「よく考えて行動する子」(知性・創造性)を目標として、ひとりひとりの子どもの成長発達を助長することをめざして教育を行っております。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画を基に設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果	取組み状況
(1)教育要領、教育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成している。	A	毎年指導計画に加筆、訂正を行い、子どもの実態に即した内容にするように努めている。
(2)子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	A	教師は日々の記録を参考にして子どもの実態を把握し、日案の作成に反映させるようにしている。
(3)学期ごとに各クラスの経営の成果と課題を報告する。	A	各クラスで月や週の目標を定め、毎学期ごとに達成状況を報告し合うようにしている。
(4)子どものよさを認めて評価しようとしている。	A	一人ひとりの子どものよさを認め、教師が客観的に子どもを見る目を養うように努めている。
(5)遊びを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	A	自分で工夫して遊び、それが発展して友だちと協力して遊べる環境を準備するようにしている。
(6)規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	A	登園から降園までの一日の流れのなかで、身に付けてほしい生活習慣の獲得を促している。
(7)各研修会や研究会に積極的に参加して職員に	A	各種研修会や研究会に参加し学んだことを資料にまとめ、職員会議などにおいて発表し、共

資料提供をする。		有化を図るようにしている。
(8)園だより等を通して、幼稚園の情報を発信していく。	A	園の教育方針や取組みを情報発信するように園だよりに記載し、積極的に取り組んでいく。30年度よりホームページをスマホ対応とした。今年度より登降園もスマホで管理し、連絡もスマホで行うようにした。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	<p>教師一人ひとりが学校評価の主旨を理解し、各自適切に自己点検、自己評価に取り組んでいる様子が見られた。今年度より保育日誌をパソコンで管理する保育士もいる。今後も客観的な目で自らの教育、保育を振り返り、更に充実した実践ができるように努力を積み重ねてほしい。</p> <p>施設面では環境整備に力を入れており、今年度も教室の床のメンテナンスを行い、子ども達が安心、安全に遊べる環境になるように努力しており、概ね目標を達成できた。</p> <p>おがーるシステムを利用して、できるだけ銀行引き落としにて、現金を取り扱わないようにした。</p>

○結果について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組み方法
情報公開の方法	現在、園だよりや参観日などを通して保護者への周知徹底には取り組んでいる。更に進んだ情報公開として、ホームページを公開し、スマホ対応にリニューアルしたが、さらにその内容の充実に努めたい。
自己点検、自己評価	最低限こうしてほしいといった基本の項目を点検課題として挙げているので、各教職員においては更に課題を上げるようにして自己研鑽に取り組むようにしている。
指導計画の編成	新教育要領に基づいた指導計画の作成のために訂正、加筆をさらに加え、園を取り巻く環境や子どもの実態に即した新たな指導計画の編成に取り組んでいく。